

## 国語科単元テスト分析

### 一、漢字が書けていない

夏休み明けテストの範囲で、さらにはテストで出題したところだったにもかかわらず書けていない生徒が多くみられた。復習していれば点を取れることを前提に考えた出題だった分残念な結果であった。

対策：毎週の漢字テストで意味や使い方などを理解して使えるように勉強しておく。

### 二、文法の知識が抜け落ちている

一学期で学習した内容で、期末テストにも出したような内容も含んでいたが主語の問題でもミスが多く、文節に分けられていない生徒もいた。

対策：文法ワークの問題や、配られたプリントでは言葉の働きに着目してしっかり解きなおす。

### 三、文章の段落分けができていない

序論本論結論のように、文章のまとまりを考えると授業を行っていたが各段落に分けられていない生徒が少なかった。

対策：「何から判断」して、「文を分ける」のかという章分けがまだまだできていないので、接続語をおさえて文の流れを読み取ることを意識するようにしよう。

### 四、問題提起の場所を理解できていない

筆者の問い把握という論説文において大切な問いをつかむことができていない。結論と問いをリンクして考えられていなかった。

対策：三、四共にワークやiプリを用いて、問と解の関係や解と根拠の関係などを理解して問題を解くようにする。